



はとりみつひろ
羽鳥光博 議員

補助

住宅リフォーム補助制度の再開を求める

「私の視点」

令和7年度当初予算に計上されていない「住宅リフォーム補助制度」は身近な景気浮揚策として有効な手段であり、複数年、実施すべきである。

答弁（町長） 実施に向けて速やかに予算措置を行いたい

問 町は物価高で消費が冷え込んでいる今、町民、事業者を支援するため、住宅リフォーム補助制度を再開できないか。

答（町長） 補助制度の再開は、過去の実績も鑑みると、低迷している地域経済の活性化対策としての効果が期待できる。町の財政は厳しい状況だが、今回国から地方に配分される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、実施に向けて速やかに予算措置を行いたいと考えている。

問 予算規模はどれくらいか。

答（経済産業課長） 補助金上限額1件10万円、600件で6000万円を令和7年度補正予算額として要望したいと考えている。

公共インフラの整備・拡充

問 道路、水路、教育施設などの公共インフラの整備事業は、社会資本としての蓄積につながる。事業推進のため、当初予算編成時から財政調整基金と繰越金を財源とした年度計画を立てているか。

答（町長） 公共インフラ整備は、玉村町公共施設等総合管理計画等において、中長期的な計画を定め、各実施年度の予算で実施している。財政調整基金は公共インフラ整備の特定事業への財源としておらず、最終的な予算全体の財源不足を補うために活用している。また、繰越金は年度途中の緊急性のある事業や当初予算編成時には見込めなかった支出等に活用している。

コンビニエンスストアへのAED設置

問 AEDを町が購入し、コンビニエンスストアに設置することで、より町民の安心・安全を確保できると考える。設置を行えないか。

答（町長） 購入費用、維持管理費用などの財源の確保も必要になってくる。また、ほかの事業者との兼ね合いもあるため、現時点では難しいと考える。

問 町は1台月4000円弱の5年リースで公共施設に34台設置している。包括連携協定に規定し、コンビニエンスストアに設置できないか。

答（企画課長） 駅やデパート、観光施設等では自費で設置している。公平性の観点から他市町村の先進事例を見ながら検討し、判断したい。



町民の命を助けるAED（自動体外式除細動器）、すぐに気づき取りに行ける場所への設置が望まれる

こんな質問もしています

・下水道管の点検、更新の推進について

ほりこしまゆこ
堀越真由子 議員

自治

アウトリーチ※をどう進めているのか

※必要な助けが届いていない人に対して、公共機関などからアプローチして支援を行うこと。

「私の視点」

困り事がある方や生活困窮者に向けて、町ではアウトリーチといった取組を行っているが、困り事は多種多様である。対応する職員は足りているのか。

答弁（健康福祉課長） 地域の方の協力の下、早期発見に努めている

問 2023年の厚生労働省のアンケートで国民の約27%が「生活が大変苦しい」と答えている。生活困窮者へのアウトリーチをどう進めているのか。

答（健康福祉課長） 効果的な手法としてローラー作戦やアンケート調査などを検討したが、支援体制が整っていないため実施できていない。現在は、「ちょこっと福祉の相談所」や民生委員など地域の方々にご協力をいただき、早期発見、早期把握に努めている。主訴がはっきりしていない方でも、相談できる窓口があるということを知ってほしい。

問 アウトリーチがうまくいっている自治体は社会福祉協議会（社協）との連携もうまくいっている。社協との連携を強化するため、社協に町職員を派遣し、共同運営を行う考えはあるか。

答（健康福祉課長） 行政は支援の仕組み・基盤の整備、社協は地域の人と協働する役割がある。行政と社協の両輪で進めていけるよう、社協とはコミュニケーションの強化を図る。

町職員の業務バランス

問 業務内容によって残業が続く職員もいる。住民に対応する職員数は足りているか。

答（町長） 産休・育休等により、不足することもあるが、人事異動などにより適正配置に努めている。

不登校児童・生徒、保護者への支援

問 学校に行きづらいと感じる児童・生徒へのサポートをどのように行っているか。

答（教育長） 担任やスクールカウンセラー等の専門家と連携し、組織的なサポートに努めている。来年度は新規事業として校内教育支援センターを設置する予定である。ここでは教員免許を有した支援員を中心に対象となる児童・生徒の支援を行う。

問 子供が不登校になり、孤立してしまった家庭への支援や保護者同士が話せる場の提供はあるか。

答（教育長） 現在はそういった場の確保ができていないが、来年度の校内支援センターの設置に伴い、保護者同士が情報交換できる場の提供を具現化させていきたいと考えている。



子供たちの気持ちに寄り添う支援を強化

こんな質問もしています

・下水道料金改定のスケジュールについて